

## I D 問答～新たに始まった、我(ら?)が精神の放浪?!～

作：I & D

③④ このまま、一つの「区切り」まで、ずるずるといくのか?否、やはり何とかしなければ?!

I：相変わらずのコロナ禍の連続(特に、沖縄は!)!何か、最早、これが日常とも言えるほどでもありますね?!政策担当者や医療関係者等には、甚だ申し訳ないのですが、いつまで、この「日常?」が続くのでしょうか?間近に迫ったオリンピック開催も含めて、苦しいながらも、何とか光明が見出せないものか?そんなことを思いながらの、最近の日々ですよ!

D：まったくです!しかも、それに絡まった数々の問題点・課題の提示(醜聞?もある!)!毎日毎日、「明日こそは!」と、その回復の兆しを待ち詫びながらも、変わらぬ惨状・窮状(そして、新型の変異株の脅威も!)は、ワクチン接種の進展にも拘わらず、本当に芳しいものではないですよ!?

I：そうですね!もちろん、それに立ち向かっている、数々の、そして名も無き関係者(特に、保健・医療関係者)もいるようですが…そんな中で、ふと思うことがあります!今の私に、何ができるのか?何ができているのだろうか?と!前にも、どこかで言ったような気もしますが、今回改めて、そんなことを強く思い始めている私でもあるのです!

D：しかし、そうは思っても、ほとんど動けない!誰とも、話せない!奥さん以外は(笑い)?

I：そういうことです!とにかく、70歳までは(残り10か月!)、何とか、私なりの「社会貢献(参加)」をしたいものであると思いつつ、これまで頑張ってきたつもりなのですが、実際には、ほとんど役に立っていないのが実情なのです!何とも悔しい?限りなのです!

D：そうですね!そして、心中は察しています!ただし、「70歳までは!」というのは、もちろん、あなた(私も?)の勝手な思い(区切り)であり、一つの、あなた(私も?)なりのポーズ(内なる宣言?)であることは言うまでもありません?!しかも、他の人にとっては、それほど気になることではない?!

I：もちろん、そうなのでしょうが、しかし、それには、私なりの思いがあるのですよ!50代前半での、ある病の宣告、そして、その後は、また別な病との出会い(こちらの方は、当時は、ぶち明けそんなに厄介なものとは思わなかった!)!そうしたものを抱えながらも、逆に、意を決しての大学・学部改革への挑戦?尤も、それらは、結果的には、まったくの不発に終わりましたが…

D：要は、まだ、やり残したことがある?自分なりの、最後のけじめをつけたい!そういうことかと思いますが、それが、まがりにも、今なら出来る?否、今が、最後のチャンスだと思っても、このコロナ禍によって、そのことが、大いに阻まれている!そういうことですよ!?

I：まあ、単純に言えば、そういうことなのですが、何とも歯痒い、何とも悔しい、そういうことなのです!

D：ただし、そうは言っても、奥さんをはじめ?、他の人にとっては、あまり深刻に受け止めることではないのではありませんか?みんな、そうして、年を取り、社会参画から離れていく!しかも、みんなそれぞれ、自分のこと、自分の生活で精一杯なのですからね!?

I：そういうことを言われれば、まさにその通りなのでしょうが(ちょっと寂しい?)…

D：でも、そんな中でも、何か役に立っていることもあるのでしょうかから、それを大事にして、やっていく他ないですよ!?

I：月1回の「教育協働セミナー」の開催とか、玉城青少年の家の「相談員」としての関わりとかということですね!?

D：そういうことなのですが、実は、次回(7/24)は、そのセミナーで、新たな挑戦があるみたいではないですか?それと、玉城青少年の家の「相談員」としての貢献も?まずは、そういうことになりすよ!それなりに、頑張っていきましょうよ!  
(つづく)